

## 第 80 回 宮崎大学イブニングセミナー (Evening Seminar)

テーマ：『世界を目指し、地域と生きる： **農学部発ベンチャーの挑戦**』

日 時：令和 2 年 6 月 25 日 (木) 17:30-19:00 (受付開始時間 17:00)

場 所：宮崎大学創立 330 記念交流会館コンベンションホール (木花キャンパス)

定 員：70 名 (宮崎県内在住者のみ参加可能とさせていただきます。)

申込方法：以下担当へメール又は電話にて申込みください。

メールの際は、以下をお知らせください。

<学内者・学外者の別、学内者の場合は教職員・学生の別、所属、氏名>

【担当】宮崎大学研究推進課総務係

TEL：0985-58-2882 / E-Mail：[ken-somu@of.miyazaki-u.ac.jp](mailto:ken-somu@of.miyazaki-u.ac.jp)

申込受付期間：~~令和 2 年 6 月 18 日 (木) ※定員に達し次第、締め切らせていただきます。~~

**締め切りを当日まで延長し、定員に達し次第、締め切らせていただきます。**

注意事項：新型コロナウイルス感染症への対策として、以下を実施いたします。

- ・参加時に、体温が 37.5℃を超える方、2 週間以内に宮崎県外へ出かけたことのある方、体調がすぐれない方は参加をお控えください。
- ・必ずマスクを着用し、出入口設置のアルコールを利用して手指消毒を行ってください。
- ・入口に設置の受付簿にご記入ください。学内者は IC 証にて受付を行ってください。
- ・座席間の空間を確保するため、資料を配付している席にお座りください。
- また、前から順に着席いただきますようご協力ください。
- ・換気のため、ホールのドアや窓を開放したまま進行いたします。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、急遽開催を延期させていただく場合があります。ご了承ください。(ホームページ等でご案内いたします。)

次 第：

《司会》伊藤 哲 (農学部 森林緑地環境科学科 教授)

開会挨拶

17:30-17:35 池ノ上 克 (学長)

発表

### 1. 17:35-18:10 「海と山をつなぐ 宮大発サクラマス養殖ベンチャーの挑戦」

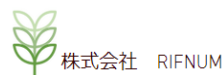
内田 勝久 (農学部フィールドセンター 延岡フィールド 教授)

上野 賢 (株式会社 Smolt 代表取締役 CEO、農学研究科修士課程 2 年)



### 2. 18:10-18:30 「台木で果樹園芸を支える (株) RIFNUM」

鉄村 琢哉 (農学部 植物生産環境科学科 教授)



### 3. 18:30-18:50 「儲けないベンチャー経営」

梅村 崇志 (農学部 教務・学生支援係)



コメンテーター：國武 久登 (応用生物科学科 教授、副学長)

閉会挨拶

18:55-19:00 水光 正仁 (理事・副学長)

テーマ：『世界を目指し、地域と生きる： 農学部発ベンチャーの挑戦』

1. 「海と山をつなぐ 宮大発サクラマス養殖ベンチャーの挑戦」



Smolt

内田 勝久（農学部フィールドセンター 延岡フィールド 教授）

上野 賢（株式会社 Smolt 代表取締役 CEO：農学研究科修士課程）

講演の前半では、五ヶ瀬ヤマメの生産における課題解決から始まった研究の経緯や、基礎的なヤマメ（サクラマス）の生理現象の理解から海と山をつなぐ循環型養殖体制の構築に至った道のりを紹介します。後半では、サクラマス養殖が大学発のベンチャー企業に至った経緯と、その先に見据える事業の展望についてお話しします。

<https://www.smolt.co.jp/>



2. 「台木で果樹園芸を支える（株）RIFNUM」



株式会社 RIFNUM

鉄村 琢哉（農学部 植物生産環境科学科 教授）



果樹の苗木は一般的に接ぎ木され、市販されています。接ぎ木は2つの植物をつなげて1つにすることですが、根を持つ「台木」と呼ばれる部分には果実はつけないため、今まで注目されていませんでした。しかし、「台木」は果樹を支えるだけでなく、樹の成長や果実品質にも影響を及ぼすことがわかってきました。台木として優れた形質を示すカキ'MKR1'は2015年に宮崎大学を育成権者として品種登録されました。私たちは、'MKR1'を生産・販売するため（株）RIFNUM を立ち上げましたが、将来はカキ以外の果樹の台木生産も行う予定です。

<https://www.rifnum.com/>

3. 「儲けないベンチャー経営」



宮崎国際教育サービス株式会社  
Miyazaki International Education Service, Inc.

梅村 崇志（農学部 教務・学生支援係）

ベンチャー企業として生き残れるのかは、設立から3年間で非常に重要です。経済産業省のデータによると設立から1年で7割、その残った企業のうち2年目で廃業となるのは6割です。どのような戦略で舵取りをしていくのか、そのためには、儲ける、儲けないの基準をどこに設定するのか、現在の状況を見せながらお話しします。

<https://www.facebook.com/mies.ltd/>